

塩竈再生

- ・市役所庁舎・市立病院の建て替え、整備計画
- ・重要課題「ごみ処理施設」の整備、学校再編
- ・水産「産業創出再生」・離島「浦戸の再生」

2期目の抱負をお聞かせください。

2期目として、今まで先送りされてきた懸案事項について30～50年後の塩竈を見越したスパンで実行スケジュールを組み立てることにしております。しっかりと議論を重ねて、その時々で市民の皆さまに懇談会を通じて開示する予定です。

18年後に市制施行100周年を迎えます。それまでに市役所庁舎や市立病院の新築工事など、どうなっているのか、なぜこのようにしないといけないのか、塩竈をどう再生させていくかなど、市民に対する明確な説明が求められています。財源の返済などをシミュレーションして、具体的に進捗状況を説明していきます。そのために本年度は、集会所を40～50カ所を回る予定でスケジュールを調整しているところです。

市役所庁舎の移転、整備の現況をお聞かせください。

庁舎も築63年になり、法定耐用年数を経過し老朽化が深刻になっています。国からの財源措置である緊防債(緊急防災・減災事業債)の関係で、最優先に取り組みます。現在地が一昨年5月、

全部ではありませんが、宮城県の津波浸水想定区域に入りました。緊防債の期限が2025年度までのため、建て替えを前倒して進めなければなりません。ただし、塩竈は土地がないのが現状です。現地建て替えか、アクセスが良くありませんが舟入地区の県有地を建設候補地と考えております。

確実に言えることは、現在3つに分散している庁舎は、1つに集約します。市民の利便性のためにも、必ず実現させます。現地建て替えの場合は、津波浸水想定区域だから建設がダメではなく、1階を駐車場にして各部署を上階にすれば可能性はあると思います。移転になれば時間もかかることを考慮し、ベストがない中でよりベターなものを選択せざるを得ない状況です。

今後、サウンディング調査などを実施して、2つの選択肢からどちらかを選ぶこととなります。



市立病院についてはどうですか。

現在の病院は、最も古い建物が1959年に建てられたもので、建て増しを2回しております。実際に、仮設病院を設けて、半分取り壊して、半分建てる



やり方で、現地建て替えのシミュレーションを行ったのですが、仮設費用だけでも約19億円かかる見込みです。本市は、人口が1万人減少し、税収もかなり減っており、現在の建物の規模を維持するのは厳しいと思います。高齢化もだいたい進んでおり、161床のベッド数を維持するのは困難な状況です。

地域の健康を守る観点から、このまま放置するわけにはいかないので、新たな建設場所の選定や今後必要となる医療機能などを検討しております。

また、市内から東北医科薬科大学病院まで車で約20分で行けることもあり、連携を強化する方法も考えております。医師の派遣は、東北大学中心ですが、地理的条件を生かして東北医科薬科大学とのさらなる医療連携に向けて、どのような連携がいいのか精査しなければなりません。塩竈単独でやれる方法も含め、将来の道筋を立てる予定しております。

学校再編についてお聞かせください。

学校が11校(小学校6・中学校5)、離島の浦戸諸島に小規模特認校があります。一番歴史のある第一小学校が昨年150周年、その他はほぼ同時期に建てられており、一部長寿命化している学校もありますが、築50年以上経過しています。少子化が進み、校舎も老朽化しています。

今年度、本市として学校再編の基本計画・方針を打ち出すために、外部の有識者会議を設置して答申を受ける形式で検討しており、学校規模の適正化に向けて準備を進めているところです。すでに、PTA役員などには学校統

Shiogama City Renaissance「海園都市・塩竈～海と歴史のまち、おいしい食と文化のまち、海辺と暮らすまち」



合は避けられない旨を伝えています。

全ての学校を建て替えるのは困難で、長寿命化した学校を活かす方法や小中一貫校、義務教育学校の建設、遠方通学のスクールバス対応など深く議論しなければなりません。これを基に地域やPTA・保護者にフィードバックして、今後のスケジュールを公表できるようにしたいと思います。

ごみ処理施設(清掃工場)の進捗状況はどうですか。

耐久年数が超過し、老朽化が深刻な可燃ごみ処理施設は、現地に建て替える方針とし、リサイクル施設や埋立処分場整備も含め「廃棄物処理施設整備基本構想」を策定し取り組んでいます。以前から、近隣一部事務組合への加入について、さまざまな検討を行ってきたところですが、本市で1日70t出るゴミを組合が有する施設で全量処理することは困難となっています。一部のゴミを仙台や他地域で処理してもらうと、年間7～8億円以上の費用がかかる見込みです。既存の施設を耐震化しつつ、隣接に新しい施設を造り、完成したら古い施設を解体するほうが費用的にも耐用年数20年で帳尻が合うと想定しています。整備目標は2028年度に設定し、26年度の建設工事の着手に向



土木・外構・解体工事

株式会社アームズ東日本

代表取締役 沖田 司

宮城県宮城郡利町春日字琵琶ヶ崎8-1
TEL.022(354)1345 FAX.022(354)1344
https://www.otto2016.com/

地域の皆様から必要とされ「愛される工務店」を目指します。

株式会社鈴木工務店

代表取締役 鈴木 美範

本社/塩竈市清水沢3丁目11-31
事務所/多賀城市中央3丁目19-6
TEL.022(368)2191 FAX.022(368)2193
https://www.suzukiko-muten.co.jp/

水の未来をデザインする。
Designing the future of water

水ing エンジニアリング株式会社 東北支店

代表取締役 千葉 浩介

TEL.022(364)2120 https://www.tjkk.jp/

けて動いております。

水産業の再生について、どのように進めますか。

塩釜港は、生鮮マグロ(クロマグロ・メバチマグロ)の水揚げに特化してきており、取り扱い量は減ったのに単価が高いと聞いております。9月から12月に水揚げされるメバチマグロについては、厳しい条件をクリアできれば「三陸塩竈ひがしもの」としてのブランド魚になります。

ただし、生マグロに特化してきたあまり、水産業の衰退に少なからずつながっている面もあります。原因としては、これまで冷凍ものを取り扱っていないことや、加工原料となる魚種も扱っていないためだと思われます。最大のネックになっているのが円安です。加工品には輸入原料を使用しており、円安影響が大きく、さらにウクライナ侵攻や物価高騰などで厳しい状況になっております。前浜ものを原料に扱う気仙沼や石巻と違って、ダメージを受けているのは塩竈だけかもしれません。

本市の看板である生マグロは外せませんが、今後の水産取り扱いをどうするか、本格的に検討して参ります。

浦戸諸島の高齢化が問題になっていますが。

浦戸諸島(桂島・野々島・寒風沢・朴島)は、人口のほとんどが高齢者です。以前から島内架橋が最優先という考え方がありましたが、何十年も進展していないのが現状です。浦戸振興推進協議会には、橋を架けるのも大切だが、岸壁の亀裂や隆起の補修、浮桟橋の設置など優先順位を決めて国や県に要望

することを伝えています。

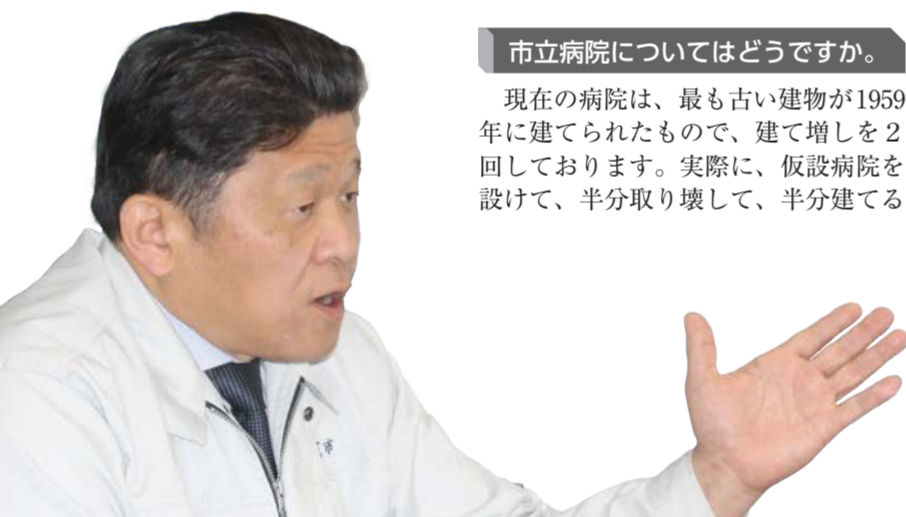
朴島に浮桟橋を設置してほしい要望がありました。朴島だけ何十年も浮桟橋がなく、船の乗降時に危険を伴うことが多くあったと思います。今年度予算を確保したので、設置に向けて準備を進めているところです。

浦戸地区は、市街化調整区域や特別名勝松島など複数の法令が適用されており、簡単に開発できないことになっています。防潮堤工事などは、解体しても以前と同じ高さやデザイン、色にしなければなりません。こういった規制に関しては、宮城県と協議をして、鳥民のための開発を目指していこうと思います。

また、浦戸で昔作っていた塩づくりを復活させたいと思っており、だいたい先にはなりますが、塩づくりの文化施設整備を目指してまいります。

建設業への期待、メッセージをお願いします。

塩竈は、大型公共工事を控えています。どのような形で地元の建設業者を絡めていくのか、工夫しなければいけません。他に組合に仕事を一括でお願いする方法も検討しています。例えば、学校のメンテナンスを1つにして、これだけを組合へ一括で発注するとか、市役所庁舎を建て直す場合は、手すり部分を別の組合に発注するとか、より仕事が公平にいきわたるように分散が良いと思います。競争も大切ですが、いかに適正な価格で受注していただけるのか、工夫が必要だと感じています。仕事がない中で、いかに仕事を作り出していか、市長として真価が問われます。引き続き、協力をお願いします。



佐藤 光樹 塩竈市長 インタビュー

生年月日: 1967年11月7日
職歴: 2003年 宮城県議会議員
2018年 宮城県議会議長
2019年 塩竈市長 就任 現在に至る

株式会社栄電業

代表取締役 鈴木 幸一

〒985-0013 塩竈市牛生町18-11
TEL.022(363)0343 FAX.022(364)2071

塩釜金融協会

七十七銀行 杜の都信用金庫
仙台銀行 岩手銀行 北日本銀行

SKK 庄磁工業株式会社

代表取締役 庄子 孝

〒989-3121 仙台市青葉区郷六字龍沢61番地の3
TEL.022(226)0030代 FAX.022(226)0032

より快適な環境を提案する総合コンサルティング企業

株式会社 太平エンジニアリング

代表取締役 高橋 学

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-6-22
TEL.022(295)6366
https://www.taihei-group.co.jp

地域の発展に寄与し 共に成長する企業を目指して

株式会社千葉鳶

代表取締役 千葉 美徳

地域と共に。未来にのこす街づくり

造船業・総合建設業

株式会社 東北重機工事

代表取締役 千葉 浩介

TEL.022(364)2120 https://www.tjkk.jp/

中央建鉄株式会社

仙台支店

支店長 丹野 隆一

〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町20-29
TEL.022(292)6911 FAX.022(292)6966
https://chuo-kentetsu.co.jp/

東華建設株式会社

代表取締役 須田 英樹

宮城県塩竈市新浜町2-15-1
TEL.022(362)1137 FAX.022(364)0771
https://tohkakensetsu.co.jp/

港湾土木資材・工業用品・水産漁業資材

株式会社 三亥

代表取締役社長 宮本 匡洋

〒985-0026 宮城県塩竈市旭町19-5
TEL.022(362)6985 FAX.022(362)6984

国土交通省認定

膨張式救命いかだ整備事業所
GMDSS救命設備サービスステーション

株式会社 宮本工務店

代表取締役社長 宮本 匡洋

〒985-0026 宮城県塩竈市旭町19-5
TEL.022(362)6985 FAX.022(362)6984

代表取締役社長 宮本 匡洋

〒985-0026 宮城県塩竈市旭町19-5
TEL.022(362)6985 FAX.022(362)6984